

キャリア教育で病院を見学

小山市立小山第三中学校（永井秀典校長）の1年生24人が6月3日、キャリア教育の一環として城西病院を見学しました。生徒たちは、ふだん入れない手術室なども見学、専門家から詳しい説明を受けて、熱心に質問をする姿も見られました。

同中学校の職業見学は、昨年度に続いて2度目。職場を見学することで、視野を広げ、将来の職業選択に役立てようと、今年も1年生の中から希望者を募って行われました。

生徒は、オリエンテーションで病院全体の説明を受けた後、3つの班に分かれ、それぞれ看護師の案内で病院内を回りました。

臨床検査室やリハビリ室、レントゲン室、城西総合健診センター、リハビリ回復病棟、透析センター、手術室、一般病棟、受付、外

初めて見る機械に興味津々

来待合室、救急処置室と、生徒たちが身近に感じている場所から、普段は入ることのできない臨床検査室や手術室、救命処置室など、病院内のほとんどの場所を見学しました。

手術室では、手術台に乗ってベッドがリモコンで動く様子を実際にベッドに寝て血圧や脈拍を図ったりして、実体験しました。

丸本雅さんは「思った以上にいろんな部署があってびっくりしました。病院の仕事に就きたいと思っていましたが、病院を見学してますます働きたいと思いました」と話し、宮本大熙君は「めったなことでは入れない場所に行くことができ、いい経験になりました。病院の仕事で、特にレントゲン技師に興味を持ちました」と感想を話していました。

平成26年6月4日



透析センターで、機械の説明を受ける生徒たち



臨床検査室で、さまざまな検査機器の説明を受ける生徒たち



手術台に横たわって体験する生徒



手術室の説明を受ける生徒たち



職場見学を訪れた24人の生徒たち＝城西病院